

復活！ 進撃の浦山ダム ～第十章～ 開催

5年の時を経て、痛車・コスプレイベント「進撃の浦山ダム～第十章～」(秩父商業青年経営者研究会・秩父サブカルチャー実行委員会 主催)が令和6年5月19日(日)浦山ダムで“復活”開催されました。当日は4輪車と2輪車合計59台の痛車と約40名のコスプレイヤー、約20名のカメラマンが参加し、浦山ダムの堤体を埋めました。

当日は、早朝から会場の設営や出展車両の搬入が行われ、予定どおり10時に開会となりました。コロナ禍でしばらく開催できなかったイベントでもあり、堤体のあちこちで、レイヤーさんや痛車の撮影会などが夕方まで行われました。主催者発表では、約600人の来訪者があったとのこと。初めて浦山ダムに来訪された方からは「浦山ダムに初めて来ました。楽しいイベントだね。」「普段見られないものを見せていただけて良かった。」という話しも聞かれました。

荒川ダム総合管理所では痛車・コスプレイベントにおいて、職員による事業説明も含めた浦山ダム堤体内の見学会を行っており、普段は入ることが出来ないところに入れることから、早々に募集定員に達するなど大変好評でした。

このイベントも今回で節目の10回目となり、今後も浦山ダムを有効活用した地域イベントとして、秩父地域の活性化に寄与するとともに、より多くの方々にダムの魅力や重要性をアピールしていきたいと考えています。



天端に痛車勢揃い



痛車・コスプレの撮影



怖いよ〜 怖いよ〜 食われる



浦山ダム見学会も同時に開催



最後に全員で集合写真「進撃の浦山ダム～第十章～ ここに復活！」また来年！